

事業番号	09 03 01	事業改善シート(28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	■点検
事業名	需要対応穀物生産強化事業			担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	農業技術課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出		実施期間	H18 ~		
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 ウ 農業の競争力強化					

1 事業の概要

目指す姿	<p>○品質の高い米を生産するとともに、転作作物(麦・大豆・そば)の導入促進を図り効率的な経営体を育成する。</p> <p>○米の県オリジナル品種の導入を促進するとともに、食味・品質に優れた特徴のある米の作付けを拡大する。</p> <p>○麦・大豆・そばでは、加工適性が高い品種の導入を促進し、加工業者等から求められる生産を行う。</p>	
現状(予算編成時)	<p>○農業経営の安定と国内生産力の確保を図るため、国の施策を活用した的確な対応が必要となっている。</p> <p>○本県においては、適期作業や基本技術の励行等による品質向上・良食味対策に努めた結果、農産物検査法に基づく1等米比率(水稲うるち・玄米)は全国トップクラスを維持している。しかし、近年は高温登熟や雑草イネ発生による品質低下が発生しており、対策が必要となっている。</p> <p>○麦、大豆、そばの生産振興は、食料自給率の向上を図る上で非常に重要であり、実需者ニーズに対応した麦・大豆・そば産地を育成し作付拡大を図るとともに高品質麦・大豆・そばの安定生産を確立する必要がある。</p>	
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 長野県の米穀類生産を、一層実需者ニーズに対応したものに誘導するため、県の関与が必要である。

成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)					
	○実需者ニーズの高い県オリジナル品種(米、麦、大豆、そば)の作付面積 2,000ha (H29を目標年とする食と農業農村振興計画において設定した、当該年作付け面積目標とする。(水稲新品種:1,100ha、麦・大豆・そば新品種:900haに設定))					
	② 事業内容		(単位:千円)			
	項目	実施方法	H28事業実績		H29	
			(当初)	(決算)	(当初)	
	需要対応穀物地域体制整備事業交付金	交付金	乾燥調製施設等の整備(JA等):4カ所	977,425	358,704	0
	県推進事業	直接	(1) 水稲及び水田作麦、大豆、そばの生産振興 需要に的確に対応した米、水田作麦・大豆・そばの生産振興方針の樹立と生産体制の強化を図るための技術研修会・講習会の開催 (2) 難防除雑草対策技術実証事業 ・現地実証圃の設置、防止技術対策検討会の開催	2,948	2,230	3,026
畑作戦略作物(麦・大豆・そば)の生産振興	直接	(1) 経営所得安定対策を活用した畑作麦・大豆作付推進 県産麦・大豆作付推進・品質向上研修会の開催	188	188	188	
土壌有害物質のリスク管理交付金事業	直接	土壌有害物質のリスク管理による安全・安心な農産物を供給する産地体制を確立するための取組 (1) カドミウム低吸収性イネの現地適応性検討 (2) 水管理による吸収抑制対策 (3) リスク管理検討会	668	580	786	
農産物検査対策事業	直接	農産物検査法に基づく登録手続き及び監視業務を行う。 (1) 登録審査 (2) 立入調査	880	440	890	
転作促進特別対策事業補助金国庫返還金	償還金	転作促進特別対策事業補助金を活用して整備した施設の処分に係る国庫補助金相当額の返還		2,158	0	
地域食料自給圏実証実験事業					4,687	
		合計	982,109	364,300	9,577	

事業コスト	区分(単位:千円)				成果目標の達成状況											
	予算額	前年度繰越	115,132	0	41,284	項目	H26末	H27末	H28			H29 目標				
		当初予算	625,804	982,109	9,577				目標	成果	達成状況					
		補正予算	△ 581,723	△ 574,305					実需者ニーズの高い県オリジナル品種の作付面積	1,349ha	1,790ha		2,000ha	1,998ha	未達成	2,260ha
		合計(A)	159,213	407,804	50,861											
	Aの財源	一般財源	2,977	2,948	7,713											
		県債														
		国庫支出金	737,950	384,818	973											
		その他	△ 581,714	20,038	42,175											
	決算額(B)		107,623	364,300												
概算人件費	職員数(人)	2.35	2.35	2.35												
	概算人件費(C)	19,449	18,598	18,598												
概算事業費(B(A)+C)		127,072	426,402	69,459												

目標に対する成果の状況 水稲「風さやか」及び「信州ひすいそば」については、協議会体制による関係者が一丸となったPR対策等の実施、麦(ゆめかおり、ハナマンテン)及び大豆(すずはまれ、すずろまん)については、現地実証圃の設置や現地検討会の開催等により、作付面積が208ha増加し、目標の2,000haに対して、99.9%の1,998haまで拡大した。

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<p>第2期長野県食と農業農村振興計画の成果目標達成に向け、水稲「風さやか」及び「信州ひすいそば」については、協議会体制による推進を核とし、主要穀類オリジナル品種戦略的拡大支援事業による栽培技術の強化及びPR対策等により生産拡大を図る。また麦・大豆については実需者ニーズを踏まえつつ、生産振興研修会等において生産拡大を図る。</p> <p>なお、需要対応穀物地域体制整備事業交付金については、産地からの要望を踏まえ、当該年に必要な予算を計上していく。</p>